



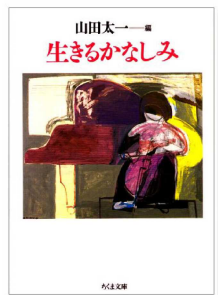
「読書」すること



「読書の秋」です。秋を何に実感されますか？ コロナ自粛だったり、長雨で稲刈り大丈夫かなと心配したり、それでもちゃんと、ひがなばなは咲きました。自然は人が思う以上にたくましいのでしょう。秋に何を思うか、人それぞれです。また、読書のありようも様々です。いつも、手元に本がないと不安な人。何冊も同時並行して読み進める人。私は自分と対話するために、本を読んでいるようです。困ったこと、苦しいことがあると本を開きます。手当たり次第に漁るように読むのです。だから、1度読みだしたら一気呵成に読了します。途中、何か違うなと感じると読み飛ばしたりして、作者さんには失礼なことをします。何があってもきちんと読むという友人は、大変生真面目な努力家で、ここにも人柄がでるのだなあと感じます。

いつから、手元にあるのか定かではありませんが、手放したくない文庫本があります。「生きるかなしみ」山田太一さんの編集です。何

かあるたびに、ページをめくっていました。バブルがはじける前に出されたので、30年近く経ちかなり茶色くなっています。他人からは、地位も名声も得て幸せに違いないと思われた人の「人間には、絶対に生まれ変わりたくない」の独白。一番ショックでした。様々な人生と哀しみが語られています。辛い事実にも励まされるのでしょうか。何故手放せないのかわからないのです。もし、よろしければ手に取って見て下さい。まだ、販売されています。（千佳子）



「生きるかなしみ」
山田太一
ちくま文庫
638円（税込）

※ホームページでも紹介しています。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで

えほんと童話の店 **みやがわ書店**
〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)
電話・FAX 0596-22-4317 Eメール ehonbaba@gmail.com
定休日 毎週日曜日・木曜日 営業時間 AM10:00~PM6:00
ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



母とわたしの絵本の時間



山肩祐綵

私の嫁入り道具はちょっと変わっている。幼少期に、母がローンを組んで買ってくれた、丸善の「世界の絵本セット」だ。一風変わっているけれど、親子の思い出が詰まった一生の宝物。母は嫁に出すとき綺麗に持っていけるよう、カバーをとって保管しているという。きっと、カバーを外すと本に染み付いた匂い、手垢、キズは親子の時間を思い出させてくれるに違いない。

思い返すと、「世界の絵本」から選んで母のもとへ持って行くと、母は、細かい字で書いてある翻訳用の大きな本と、私が持ってきた絵本の両方を机に出し、必ず私を膝にのせて毎日読んでくれた。そして、読んでくれる時、物語おわりの語尾には「～って、おーしーまい。」と締めくくる。そして私は「もう一回読んで！」とねだる。毎日この繰り返し。母は嫌な顔も、面倒くさそうな顔もせず読んでくれたなあ。

この地球にはたくさんの国があって、絵には様々な色が使われていて、世界はたくさんの物

語に溢れていることを絵本から知り、大人になっていった。

そんな私は、中学生の時、母の誕生日に絵本をプレゼントした。母はとても喜んでくれて、絵本の裏表紙に贈られた日とそのときの心情を一言綴った。これが恒例行事となり、誕生日には絵本を贈りあうようになった。後から裏表紙を見返すとその歳の出来事やそのときの笑顔も浮かんでくる。

私は27歳になった。母は老眼であまり本を読まなくなっている。これまでたくさんの物語を聞かせてくれたお礼に、絵本をプレゼントするだけでなく、今度は私が母に読み聞かせをするようになった。この前は、ユリー・シュルヴィッツの『よあけ』を読んであげた。そして、あの日の母と同じように「～って、おーしーまい。」と締めくくる私がいた。「娘に読んでもらえるようになるなんて」と嬉しそうに、翌日のリクエストをしてくる母であった。



お知らせ

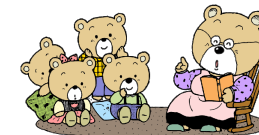
2021 10

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 定休日	4	5 おはなし会	6 新芝居ピッコの会ミニ講座	7 定休日	8	9 おはなし会
10 定休日	11	12 大人のための絵本の時間	13	14 定休日	15	16
17 定休日	18	19 おはなし会	20	21 定休日	22	23 おはなし会
24 定休日	25	26	27	28 定休日	29	30
31 定休日						



おはなし会

5日(火) 11:00~
9日(土) 14:00~
19日(火) 11:00~
23日(土) 14:00~



大人のための絵本の時間

12日(火) 10:00~

紙芝居ピッコの会ミニ講座

6日(水) 10:00~



「すてきなタータンチェック」
奥田実紀 文
穂積和夫 絵
福音館書店 1,430円

暖かいストールやコート、バッグやインテリアなど、クラシカルで上品なイメージを持つチェック柄。その波瀾万丈な歴史を知ってみませんか？世界中で愛される理由があります。



「キツネくんとツルくん」
木坂 涼 作
洞野志保 絵
PHP研究所 1,430円

キツネの出したごちそうをツルは食べることができず、ツルが出したごちそうをキツネは食べられません。…と、ここまではイソップのおはなし。さてその後キツネは…

新刊紹介



「ともだち？」
うえの よし 作
さとう のぶこ 絵
リーブル 1,320円

怖がられて友達ができないおおかみの子。かあちゃんは「とおぼえのけいこをしてごらん。心がお月さまみたいに大きくなるよ」と言います。



「きみはたいせつ」
クリスチャン・ロビンソン 作
横山和江 訳
BL出版 1,760円

自分が大切か、よくわからなくなった君へ…シンプルだけど、「だれも排除されない社会」という作者の強い思いが込められています。



「パイロット マイルズ」
ジョン・バーニンガム
&ヘレン・オクセンバリー 絵
ビル・サラマン 文
谷川俊太郎 訳
BL出版 1,650円

少年ノーマンは、旅立とうとする犬のマイルズを、そばでずっと見守り、大切なお別れのための準備をしてあげるのでした。バーニンガム未完の構想を妻と友人で仕上げた合作。



「オニのサラリーマン
じごく・ごくらく運動会」
富安陽子 文
大島妙子 絵
福音館書店 1,540円

ごくらくチームとじごくチームの面々が秋の親善運動会!! それぞれの特技を生かして仲良く、楽しく、元気よくたたかいます。地獄勤めのオニのお父ちゃんも大奮闘!

大人コース



「秋」
かさとし
講談社 1,760円

物事を理解していくために「わかりやすい見取り図」を描くこと。それを未来を生きる子ども

たちに手渡したい。そんな思いからたくさん作品を生み出していったかさとし。ただ、反戦を願いながらも、これまで戦争を直接題材にした作品はなかったそうです。没後、戦争体験をもとに描いた未発表の紙芝居が見つかり、絵本として出版されることになりました。『秋』の絵は、古い記憶の中に決して消えることのない映像として、強いタッチで描かれています。

ある印象的な話の場面で「飛行機雲」が描かれています。「日本軍の飛行機は高空は飛べなかったので飛行機雲なんて出来ないが、B29は出来た。科学技術の差は飛行機雲ひとつで歴然

でした。」(『未来のだるまちゃんへ』より)という言葉と重なりました。科学的で冷静な視点で世の中を見ていたかさとし。また、読んでいくうちにかさとしの「痛み」が伝わってきます。傷、生活苦、別れの痛みを一緒に感じている。すると、なぜ戦争がいけないのかがはっきりとわかる。この「痛み」を想像することは、平和のうちにある私たちにとって、とても大切なことだと思うのです。痛みを感じたなら、二度とその痛みは味わいたくないでしょう。何の痛みなのか、どうして痛いのかははっきりさせ、その痛みを大切な人が味わうことがないよう願う。かさとしの絵本作りの精神がここにもあります。(さつき)



「おばけと友だちになる方法」
レベッカ・グリーン 作
岸本佐知子 訳
福音館書店 1,650円

おばけに挨拶されたなら、にっこり手を振って自分の名前を言うんです。そうして仲よくなったおばけのお世話の仕方が説明されています。友達になって一番素晴らしいことは…

新刊紙芝居



「タムくんのたいこ」 12場面
作 はせがわ さとみ
え ひろかわ さえこ
童心社 2,090円

タムくんがたいこを練習していました。そこへ動物たちが次々と楽器を持ってやってきました。一緒にリズムをたのしもう!!

※金額はすべて税込です